

・優秀賞

おこめ、だいすき

南小学校（十和田市）

一年 綾部礼士

ぼくは、おこめがだいすきです。ぼくは、ようちえんのそつえんしきで、おとなになったら、せいまいじよではたらくっていったから、じいじとばばといっしょにせかいのみんなにあんぜんなおこめをつくります。はるなつあきまでは、ずっと、おこめのみずをちようせいしたり、どろんでくすりをまいてなえからいねになるまでたいせつにそだてたらいねかりをしてせいまいじよでみんながたべるおこめにします。ぼくは、このせいまいじよではたらくばばがせかいでいちばんかっこいいとおもいます。だから、ぼくもばばとおなじかっこいいふくをきておこめをかんそうさせたり、おもいおこめをもったりしてはたらきたいです。そして、としがあけたらおこめのめをそだてて、はるになったらたうえをします。さむいひもあついひも、だいたいいちねんかかってみんながたべるおこめができます。ぼくのおこめをいろんなおみせやいろんなひとたちにとどけて、おながすいたらみんなどんだべて、みんながえがおになる

ように、ぼくはおこめをつくります。

ぼくのおすすめは、たきたてのごはんのにせたそばろどんと、つなとまよねーずをまぜてにぎってもらったおにぎりと、やきにくとたべるごはんがさいこうです。でもいちばんなのは、せいまいじよでたべれるできたてのしんまいのたきたてごはんです。だから、ぼくはおこめがだいすきです。



・優秀賞

おばあちゃんのしおおにぎり

千刈小学校（青森市）

一年 葛^か 西^{さい} 咲^さ 月^き

きょうはおやすみのひです。あさから、おばあちゃんのうちにおとまりにいきます。わたしは、おばあちゃんのうちにいくのがいつもたのしみです。ほたてやおすしもだしてくれれます。でも、いちばんすきなのは、おばあちゃんをつくってくれるしおおにぎりです。

げんかんにはいったら、おばあちゃんが、「おはよう。」

と、にこにこしていました。わたしは、

「かか、しおおにぎりにぎって。」

と、すぐにいいました。あさ、なにもたべないできたので、おなかがすいていたのです。おばあちゃんは、

「うん、すぐつくってあげるよ。」

と、いって、だいどころにいきました。わたしもいっしょにだいどころにいって、おばあちゃんがつくるのをみていました。

おばあちゃんは、まず手をぬらしてから、ごはんをとって、にぎりはじめました。やさしくやさしくにぎっていました。おいしいそうなたちになつてきました。おばあちゃんが、

「できたよ。」

と、いって、おにぎりをさらにのせました。やさしい、さんかくのおにぎり、まるいおさらのうえにのっています。わたしは、たべたくてたまらなくなりました。

「いただきます。」

ひとくちたべると、ちょうどよいしょっぱさです。かんでいるうちに、ますますおいしくなってきました。

「おばあちゃん、おいしいよ。」

と、わたしがいうと、おばあちゃんは、

「うれしい。」

と、にっこりしていました。

わたしは、おこめをとぐおてつだいをしたことがあります。こんどは、おにぎりをにぎって、おばあちゃんにたべさせてあげたいです。



・優秀賞

げんきをわけてくれるのは

小中野小学校（八戸市）

一年 丸^{まる} 谷^や 鈴^{すず}

「きょう、ごはんとなに食べる？」

まいあさ、パパがわたしたちにききます。なっとうとふりかけ、どっちにしようかまよってしまいます。たきたてのしろいごはんは、かむとあまくておいしいです。あまったごはんをしておやみそでにぎったものもすきです。

「ごはんのほうがちからがでるから、うちのあさごはんだよ。」と、パパがいます。ほんとうかな、たまにはパンのあさごはんをたべたいなとおもうこともあります。

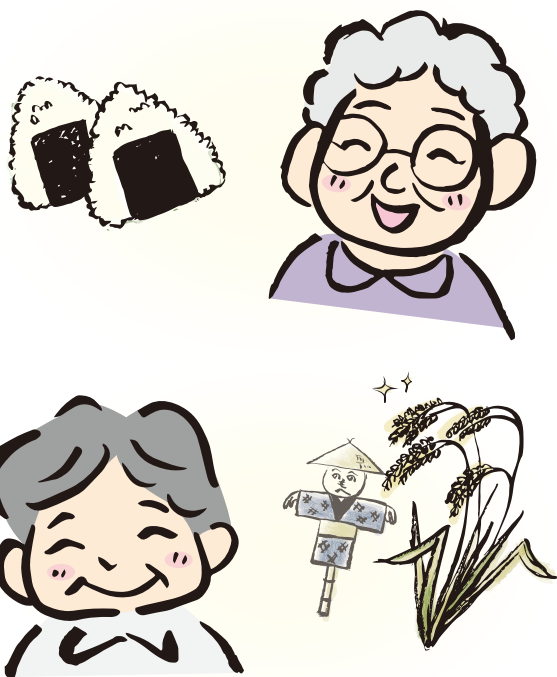
わたしには、ふたりのおばあさんがいます。ひとりはみーちゃんばあばです。じどうかんからかえると、おなかがペコペコです。そんなときは、みーちゃんばあばがにぎったおにぎりをたべます。おなかがすいたときは、パンよりもやっぱりごはんがいちばんで、なんこでもたべられます。パパのいうとおり、しゅくだいをやるちからがでる気がします。

もうひとり、たんぼのなかのおはかにいるすみちゃんばあばです。おぼんにおはかまいりにいったとき、みどりいろいろのたんぼがキラキラひかっています。ちかづいてよくみると、きみどりいろいろのつぶつぶにのがはえていて、それがおはなだとしりまし

た。ほとけさまにあげたものは、おいしくしてくれるとママがおしえてくれました。だから、たんぼでそだつおこめは、すみちゃんばあばがみまもって、あきにきいろくおいしくしてくれているのかな、とおもいます。

おこめはふたりのおばあさんがおいしくおりようりしたり、みまもってくれたりして、げんきをわけてくれるとくべつなたべものです。これからもたくさんたべて、てつぼうやすいえいをげんきにがんばりたいです。

さあ、あしたはしろいごはんをなにとたべようか、とてもたのしみです。はやおきしておかわりもするぞ！



・優秀賞

おばあちゃんが

つくってくれたおこめ

南小学校（十和田市）

一年 乙部 美結

わたしのおばあちゃんは、おこめをつくっています。たうえがおわると、あさはやくおきてたんぼのみずをみにいきます。まだ、わたしがねているじかんにはたらいしています。おばあちゃんは、んにくや、やさいも、つくっています。いえのまえにあるびにいるはうすや、はたけでつくっています。こやには、おおきいとらくたあや、いろんなどうぐがたくさんあります。たうえをしているところをたんぼにいったら、たうえきについでいねをまつすぐうえていてすごいなあとおもいました。いねがはいったのは、すぐおもかったです。おもしろいものはこぶおしごとがあるのです、おばあちゃんは、ほそいのにちからもちだなあとおもいました。おこめをたくさんたべているから、げんきにまいにちはたらいしているのかなあ。わたしは、ごはんをたまにのこしたりすると、おばあちゃんや、おかあさんにもつたいたないよ、だいにたべてねといわれます。ごはんのまえにおかしをたべておなかがいっぱいになったり、きれいなものがあるとごはんをのこしてしまいます。おばあちゃんがまいにち、あさはやくからはたらいしていっしょうけんめいつくってくれたおこめをのこしてしまつてごめんなさい。すききらいしないで、やさいも、ごはんも、ぜん

ぶのこさずたべたいとおもいます。おばあちゃんがつくってくれたおこめでつくるせきはんやおもちがだいすきです。おこめをたくさんたべてはやくおおきくなりたいです。おおきくなつたら、りょうりをべんきょうしておいしいごはんをたくさんつくろうとおもいます。



・優秀賞

おこめはじびのてっだい

北小学校（青森市）

二年 蝦えび名な宏こう祐すけ

ぼくの家のとなりにには、せいまいじよのこうばがあります。ここでは、ぼくのおじいさんがせいまいのしごとをしています。

秋になると、のうかさんがせいまいをおねがいしにきます。のうかさんは、たくさんおこめをもってきます。

おじいさんのしごとをてつだうために、ぼくのおじさんやきんじよの人たちがやってきました。ぼくもおとうさんといっしょに、せいまいしたおこめをはこぶてつだいはじめてやりました。

こうばにはこめをためるところがあって、こめがらがたくさんありました。おとうさんは、グレーの四角いきかいをゆびさして、「これにいっぱいおこめがはいっているよ。」

と教えてくれました。見ると、からがついているおこめがたくさんはいていました。おじいさんたちが、おうど色のふくろをきかいの出口にむすんでセットしました。おばあさんが、ボタンをおすと、バアーと大きい音がして、げんまいになったおこめが出てきました。ふくろがいっぱいになったので、ぼくとおとうさんは、ふたりでむこうの木のところまで、おこめのふくろをはこびました。「よいしょ。」とかげごえをかけて、ふくろをもちあげました。おもくておもくてたいへんでした。パワーをいっぱいだ

しました。ぜんぶで五回はこびました。おとうさんと、いいコンビで男の力を出せました。ぼくが、「きょう、いっぱいがんばったよ。」

と言うと、みんなが、「えらいね。」

とほめてくれました。ぼくは、とてもうれしかったです。できたおこめは、お店で売ります。春に田うえをしてから時間をかけて、やっとおこめができました。ぼくはごはんを毎日のこさずたべています。これからもおこめ一つぶ一つぶ大じにして、たべたいと思います。

